

特集 土砂災害から命を守る

日ごろからの備え

土砂災害から身を守るために日ごろから備えられることがあります。さまざまな準備を個人や家庭、また地域で行っておきましょう。



●実際に避難してみよう
地域で避難訓練を行ってみることで、お年寄りなど要援護者への対応や避難に要する時間が分かります。



●危険箇所や避難路の確認
あらかじめ危険箇所や避難経路、避難所を把握しておきましょう。



●非常持ち出し品の確認
緊急時にすぐ避難できるよう、食料品や飲料水など非常用品を最低3日分用意しておきましょう。

Topic

町内会の自主防災組織で訓練したいけど、どうすればいいの？

災害時には隣近所の助け合い(共助)が大きな力を発揮します。みんなで声をかけあい、逃げ遅れを防いだり、避難者の安否確認をするなど、町内会単位の自主防災組織の活動は大変重要です。

市では、自主防災組織のさまざまな活動をサポートしています。「初期消火の方法」「避難困難な人を運び出す方法」「自主防災組織の役割分担に応じた行動にはどのようなことがあるのか教えてほしい」など、気軽にお問い合わせください。

問合先

高山消防署警防課
32-0119

土砂災害・全国統一防災訓練

今年も久々野町で実施

市では平成20年から毎年土砂災害の発生を想定した防災訓練を実施しておりますが、今年も6月12日に久々野町(柳島、大西、小屋名)で行います。

○主な訓練内容

- ・避難準備情報の入手
- ・防災行政無線の屋外拡声器を使った避難の呼びかけ
- ・避難所への避難
- ・安否確認
- ・炊き出し、救命講習 ほか

期日 6月12日(日)
時間 午前8時〜正午(予定)
場所 小屋名活性化施設(久々野町小屋名)

当日はさまざまな情報伝達手段を活用して訓練を行いますのでご承知置きください。
・防災行政無線の屋外拡声器で避難勧告などを呼びかけ
・ヒッツFMの高山防災ラジオで自動起動放送
・メール配信サービス「安全安心」情報の配信
※いずれも久々野町の地域限定放送・配信です。

●インタビュー



事前の一策は、事後の百策に勝る

危機管理室
室長 大下昭一

土砂災害を含め、台風や地震など私たちの身の回りにはさまざまな災害があります。その災害から身を守るために言えることは「事前の一策は事後の百策に勝る」ということです。

安全は準備に比例します。行政とそれぞれの団体や地域、ご家庭における日ごろの準備の積み重ねが地域の防災力を高め、ひいては安全・安心・快適なまちづくりにつながっていくのです。

市としても一層の体制強化に努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

問合先

危機管理室

35-33345